

7. 成果の発信と普及

- ・ Word Press を用いて記事の作成をし、今年度の本校 SGH の取り組みや活動の発信をした。
- ・ デザインを含めより閲覧しやすい Web ページとすることや、更新頻度をより高め、活動の発信力を高めることが今後の課題である。
- ・ SNS での発信は、衆目を集めることを目的とするのではなく、生徒の日々の活動を継続的に発信することを目的とし、今後も生徒のプライバシーに十分に配慮して行う。
- ・ 冊子体で作成したものはデータとして Web サイト上で閲覧できるようにし、活動の概要などは多言語化して掲載できるようにしていく。

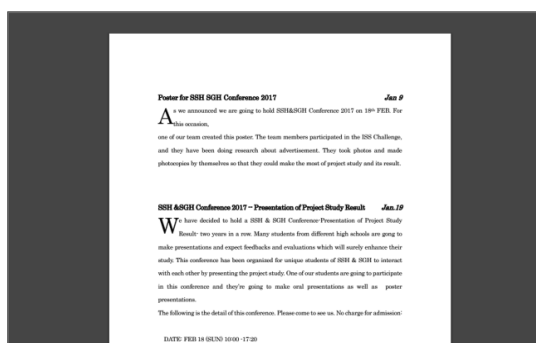
7.1 web サイトの更新

本校 SGH ホームページを更新した。SGH と関連のある学校内外での活動を掲載し、生徒の感想などを積極的に掲載することで、SGH に関する生徒の活動の様子が伝わるようなページとした。「今年度の活動」欄に関しては昨年度の更新が 31 回に対し、今年度は 27 回と更新回数は少々減ったものの、海外研修とそれにとまなう事前研修を中心に報告内容を充実させることができた。また、昨年度に引き続き、日本語を母語としない閲覧者向けに「English」ページの更新を行った。

次年度の課題として、より更新頻度を高めて発信力を高めることや、Web ページの検索タブを整理しより閲覧しやすいものとする事が挙げられる。



海外研修の報告記事



English Page の Activity Log ページ

7.2 Facebook での発信状況

2016 年 12 月から開始した Facebook による成果・活動の発信状況は以下のような数字で示すことができる。

- ・ 2018 年度投稿回数 計 20 回 (2018 年 4 月～2019 年 2 月) : 月平均 2 回
- ・ リーチ数の多かった投稿 (150 件を超えるもの)

- ①2018 年 4 月 14 日 SGH2018 活動報告 1.Taylor Wilson 氏来校!! Nuclear Science について語ろう!
- ②2018 年 12 月 15 日 SGH 高校生フォーラム参加 (於 東京国際フォーラム)
- ③2018 年 12 月 23 日 立教大学主催第 3 回 関東・甲信越静地区 SGH 課題研究発表会出場・受賞!
- ④2019 年 1 月 27 日 東京学芸大学主催 SSH/SGH 合同課題研究成果発表会開催

一昨年度の「SDG s」の取り組みについての投稿のリーチが 1000 件を超えたことを鑑みると、社会的に影響の大きいキーワードが並ぶ方が、関心度は高くなると推測はされるが、中学生が SNS で政治的な意見を述べたことで攻撃を受ける事件も実際に起こっている。生徒の個人情報やプライバシーを守ること、課題研究の地道な取り組みを発信する媒体として活用することを最優先として今後もこうした SNS の活用を行っていく。

7.3 報告書・論文集・ポスター集・課題研究ガイドの配布と情報提供

成果物での発信としては以下3点を毎年約200冊配布している。

- ・「平成27年度指定スーパーグローバルハイスクール研究開発実施報告書」
- ・「スーパーグローバルハイスクール課題研究論文集」
- ・「課題研究成果ポスター集」(カレンダー機能付き)

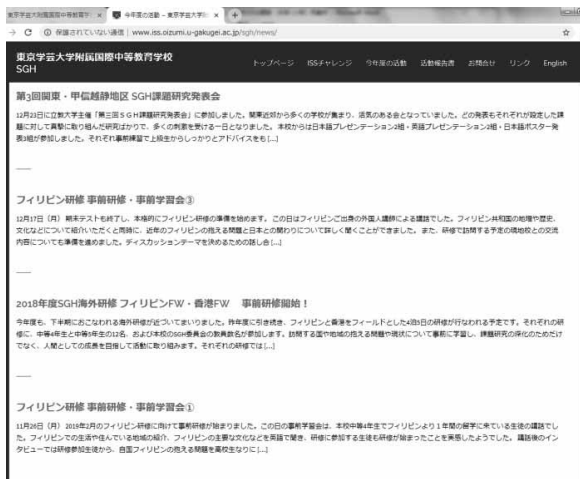
論文集は研究を行った生徒達にも配布するほか、本校の図書館・管理機関図書館へも収めている。

ポスター集は全校のHRや特別教室などに掲示し、全校生徒が月ごとに違った研究成果を見られるようにしている。

上記3点については、本校SGHのWebサイトから見られるようになっており、成果発信と同時にペーパーレス化を図っていく予定である。



上：課題研究ガイド 2017-2018/2018-2019



また、本校が昨年度から独自に作成している「課題研究ガイド」は年度ごとに全校生徒に配布し、1年生から6年生までの体系的な指導に活かすことをねらいとしている。「課題研究ガイド」は本校への来校者で希望される方には現物を提供している。今後は課題研究ガイドもWeb上で閲覧できるようにする予定である。

左：本校SGH Webサイト <http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/sgh/news/>